

2026 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 レ ン ト
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長執行役員 岡田 朗
(コード番号:372A 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 専務執行役員 管理本部長 鈴木 光
(TEL 054-265-2201)

2026年 5 月期 第 3 四半期 決算説明会における質疑応答集

当社は、2026 年 4 月 24 日に、機関投資家・アナリスト向けに 2026 年 5 月期 第 3 四半期決算説明会を実施いたしました。本資料は、同説明会でご出席の皆様からいただいた主なご質問とそれに対する回答をまとめ、公表するものです。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆修正を行っております。

記

決算説明会の質疑応答 回答者：岡田社長(最高執行責任者)

Q： 利益で上振れを目指すという記載について、4Q はさらに利益が増加するのか。また、業績予想を据え置いた理由について教えてほしい。

A：(岡田社長) 第 4 四半期においても、持続的成長に向けた取り組みを継続しており、その実行に伴うコストが発生しております。加えて、中東情勢による影響や、為替動向などの不透明感あることから、現時点において大幅な利益の上振れなどは想定しておらず、業績予想については据え置きとさせていただきます。

Q： バリュープラスサービスの売上 前年同期比 9.5%増と伸長したことについて、建設現場や設備工事現場における安全対策、省人化、環境対応、法令遵守など、特にどのニーズの強まりを感じているか教えてほしい

A：(岡田社長) バリュープラスサービスについては、従来から「安全」及び「環境対応」に関するニーズが強い認識ですが、加えて、昨今は、建設現場や設備工事現場における人手不足に関するニーズの高まりを強く感じております。当社では、省人化つながる機械やサービスの提供を通じたバリュープラスサービスに取り組んでおりますが、それだけに留まらず、海外ネットワークの活用等により、決定的な解決策を提案できないか、検討を進めております。

また、作業員の方々の健康や労働環境への配慮に関するニーズも高まっており、炎天下の作業などにおける熱中症対策にも取り組んでおります。

Q： 中東情勢の影響についてどのように考えているか。ポジティブな面、ネガティブな面に分けて教えてほしい。

A：(岡田社長)
《ネガティブな影響》

中東情勢の影響として、塗料やオイル類などの価格の上昇や、燃料価格の上昇に伴う物流コストの増加などがあるものと認識しております。



さらに、お客様においても、資材調達やコスト上昇の影響から工事の延期や遅延が発生するケースもあり、事業環境上のネガティブな要素と捉えております。

《ポジティブな影響》

一方で、資源・部品・燃料等の高騰や調達不安を背景として、例えば当社も展開しているバイオ燃料を使用した建設機械等のニーズの高まりや、限られた資源を有効活用する循環型社会への流れが強まることにより、中長期的にはレンタルニーズの底上げにつながる可能性があるものと認識しております。

また、建設機械や車両等の価格上昇及び調達不安を背景として中古市場の需給バランスにも変化が見受けられ、市場価格が上昇傾向となっております。レンタルアップした商品の中古売却について、増加検討しうるものと認識しております。

以 上